



10月号
(第371号)



武庫川女子大学
附属中学校・高等学校

「できることから一歩ずつ踏みだそう」

アカデミア探究部長 本間 晴行



10月6日(日)は、天候に恵まれ、マスゲームをはじめ多くの演技で、心に残る体育大会となりました。
来年は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。開催まで一年をきり、各競技の日本代表選手も決まろうとしていきます。東京五輪で心配されるのが「暑さ」です。これについては色々な対策が現在検討されています。

さらに、東京五輪では、環境などの課題に配慮し持続可能な社会に貢献する取り組みも行われています。この取り組みの一つに「都市鉱山からつくる!みんなのプロジェクト」があります。このプロジェクトは、使用済み携帯電話などの小型家電から金属を集めて、大会で選手に授与されるメダルを作るプロジェクトです。金銀銅、約50000個のメダルすべてをリサイクル資源で作る試みは、オリンピック史上はじめてです。

「都市鉱山」とは、わたしたちが使用して廃棄した携帯電話やパソコンなどの家電製品を「鉱山」とみなし、金属を抽出して再利用する方法です。天然資源に乏しい日本にとって、これまでの大量の輸入と消費の結果、多くの資源が都市鉱山として保有されることになりました。これらで大量の小型家電製品の再資源化を促すために2013年から使用済みの小型家電製品の回収が始まり、都市鉱山の金属を使用することは、天然資源の節約、二酸化炭素排出量の削減につながり、地球環境にやさしい試みです。消費者の協力がなくとも小型家電製品の回収ができません。地球環境の解体と金属の抽出、素材化に手間とコストがかかる点が問題となりますが、資源に乏しい日本の不利を補う発想でもあります。このメダルプロジェクトを始めた当初2017年4月はわずか624の自治体の参加でしたが、2019年3月には約2・6倍の1621(全自治体数1741の9割以上)へと拡大し、約7万8985tの小型家電が参加自治体により回収され、企業からの回収とあわせて約50000個のメダル作成に必要な金銀銅の量100%確保することを達成しました。

今、2030年を目標に持続可能な社会を目指して、このような活動や取り組みが行われています。生徒の皆さんもMSタイムで「SDGs(持続可能な開発目標)」について学んでいます。これらの学びを通じて、私たちもできることは何かと考え、できることから一歩ずつ踏みだしましょう。

学院創立80周年記念体育大会

10月6日(日)、武庫川女子大学総合スタジアムで体育大会が行われました。今年には学院創立80周年という節目の年とあって、思いを新たにすべての競技、演技に取り組んだ様子です。

体育大会実行委員長 藤田 真央さん(高3)

今年の体育大会は、学院創立80周年という節目の年、令和になって最初の体育大会でもあり、記念すべきことが重なった年でした。でも、何よりも私

にとつては最後の体育大会です。この6年間でいちは緊張しましたが、いちは楽しかった体育大会でした。私たちの姿も、新たな歴史の1ページとなったのだと思うと、思い深いものになりました。当日まで、実行委員長として為すべきことがたくさんありましたが、協



力してくださったみなさんに感謝します。ありがとうございます。

高校3年創作ダンス委員長 福村 真優さん(高3)

私たち高校3年生にとって最後の体育大会が終わりました。私は高1の時からダンス委員長をさせていただき、最初はまとめる難しさに悩みもりましたが、今年はダンス委員のみんなのサポートや学年のみんなのついていこうという気持ちのおかげで、すてきな作品ができました。みんなの一つの円になって踊ったあの光景は、卒業しても一生忘れない大切な思い出です。「ありがとう」というテーマで踊った作品。今まで育ててくれた家族、たくさんの方を教えてくださった先生方、そしてどんな時も一緒に笑ってくれた友だちに感謝を伝えることができ、本当に良かったです。心より「ありがとう」でした!



校祖の日

〜自覚と誇りを胸に〜



校祖 公江喜市郎先生がご逝去されて38年になりました。今年行事の関係で、10月4日(金)に校祖の日の特別行事を執行了しました。

藤森校長先生は「公江喜市郎先生は、高遠な教育理想と重厚な人格、烈々たる教育愛、非凡なる才腕により、今日の女子総合学園の礎を築き上げてこられました。このことにあらためて思いをはせるとともに、感謝の念を深くしたいと思えます。これからも皆さんとともに明日に向かってともに武庫川学院の一員としての自覚と誇りを胸に、努力を続けてまいります」と挨拶されました。

墓前参拝に参加した生徒代表の高校3年遠藤穂香さんと山口滯華さんは「公江喜市郎先生のこれまでの功績にふれ、先生の偉大さをあらためて感じる機会となりました。高校での生活は残りわずかとなりますが、先生が目指された女子総合学園としての理想に少しでも近づけるようがんばります」と話してくれました。



トビタテ留学 JAPAN 報告

東野 美海(高2)

私はトビタテ留学 JAPAN 4期生として、今年2月から4月までニュージランドに行かせていただきました。主に現地校に通うプログラムの中で、自分自身が身につけた大きな力は「やってみる精神」です。英語を完璧には喋れませんが、

現地の友達や運営する気候変動に対する会議に参加してみたり、ダンスは苦手ですが、カバハカというニュージランドの伝統的な踊りを練習するクラブに入ってみたり、したことのないキャンプに友達と行ってみたり、三か月弱の間、自分自身が行ったさまざまな経験が、英語力を伸ばすのはもちろん、失敗しても打たれ強い自分を作ることにつながりました。また、現地校で行ったジェンダーギャップに対するアンケートでは、ニュージランドの人々は子育てに関しても、家事に関しても男女関係なく家族全員で協力していく考えがあるのを知ることができました。最後に、今回この貴重な体験をさせていただいたのも全て先生方、両親、部活の先輩方や後輩、友達の支えがあったからです。この感謝の気持ちを忘れずトビタテで学んだことを日々の生活に活かしていきます。



藤谷 彩加(高2)

私は、語学と伝統文化について学ぶために6週間イギリスへ留学しました。初めての留学で不安なこともたくさんありましたが、それ以上にどんな学びを得られたのかという期待でいっぱいでした。



実際にイギリスに着き、日本語が聞えない環境にすごく不安を感じ、さらに空港でのトラブルもいくつか体験して、周りに助けられる人は誰もいなくて一気に怖くなりました。けれども自分でトラブルを解決するたびに、不安が自信にかわり、これからの生活が楽しみになりました。学校での授業でとくに感じたことは、授業態度の違いでした。日本では先生が一方的に授業していることが多いですが、イギリスでは先生より生徒の方が発言数が多いのではないかと思っています。皆が積極的に授業に取り組んでいました。またアクティビティにおいても全員が全力で取り組むので、どれもすごく楽しかったです。また、私が今回の留学を通して学んだことは「Respectの文化」です。これはイギリスに限らず多くの海外の人に当てはまると思うのですが、海外の人は相手を Respect することが前提にあって、さらにそれが当たり前に入っているのだと思いました。そして同時に日本人にそれができていないことにも気づきました。日本人は「相手が年上だから」という理由だけで相手に敬語を使い、忖度し、気を遣う。けれど、本当にこれだけいいのかと考えるきっかけになりました。今回の留学で多くの学びがありました。それを将来に活かすところまでがトビタテの活動だと思っているので、留学したというだけで終わらず、そこから次につなげられるようにこれからもがんばります。

短期交換留学からの報告

○アメリカ・アルバカーキ校
湯木 瑠子(高2)

私はアルバカーキアカデミーで短期交換留学に報徳学園の生徒4名と参加しています。一日中英語なので、最初の4日間はとても疲れていましたが、徐々に慣れてきました。こんなにも英語が周りにある環境なので自分のスピーキングやリスニングの力が上がったと思います。午前中には日本語クラスを受け...

また、私は模擬国連の活動も見ました。アルバカーキアカデミーでは模擬国連の活動がとても盛んに行われており、国際大会で受賞しています。本場の模擬国連はとても凄かったです。スピーチの組み立て方やリサーチの仕方などを教えてもらいました。今後に活かしたいと思いました。また、報徳学園の生徒も興味を持ってくれたようで、一緒に模擬国連について話すことができ、私にとっても刺激になりました。今回の留学を通して学んだことを活かして、日本でさらに勉強に励み、次の海外渡航で活かすことのできるようになりたいと思います。



○アイルランド・ヴィリアーズ校
森澤 明日香(高3)

今回アイルランドに行き、たくさんの方と交流し、英語が以前よりもスキルアップした気がします。アイルランドは思っていたよりも英語のスピードがとても早く、聞き取ることが最初は難しかったです。でもたくさんの方と交流でき、他の国から来た留学生と話しているうちに聞き取れるようになりました。特にリスニングは身についたと思います。そして、英語力のアップもそうですが、自分の心も強くなったと思います。積極性、自立心などたくさんあります。英語しか通じない国で生活したことは、私を成長させてくれたと思います。

ヴィリアーズには日本人の男子の子もいるので、その子に負けずにこれからは英語の勉強をがんばりたいと思います。私達以外の留学生は、英語がスムーズに話せていて、私達よりも何年も長くいる子もいます。その子たちをすごいなと思います。私も負けてはいられません。そして友達の世界にたくさんいると思うととてもうれしいです。日本



に帰ってからもやりとりを続け、いつか会いたいです。また、大学生になって留学、または海外に行くことがあれば今回の留学の経験を活かしたいです。他の人にもこの留学を経験してほしいと思います。

○アイルランド・セントラファエラズ校
山田 朝葉(高1)

今回は一人での留学にドキドキワクワクでした。素敵なホストファミリーと友達に囲まれて幸せな時間を過ごすことができました。学校ではアイルランド語をはじめ五ヶ国もの言語を学び、ヨガや宗教などふだん学ぶことのできないこともたくさん経験できました。タイムテーブルも日本とは全く違い、とても興味深かったです。

ホームステイ先はイタリアとフランスの家庭で、そこでもそれぞれの違った文化や習慣を知ることができました。週末にはアイリッシュの伝統的なレストランで食事したり、ダブリンやウィットローの街を満喫しました。

今回の留学で本当によくさんの文化にふれることができて自分の世界が広がりました。また、一人で日本を離れ、人としても大きく成長できたように感じています。この4週間が自分の人生の中でかけがえのないものとなりました。必ずこれからの生活に活かしていきたいと思っています。



入試説明会案内

- 小学6年生対象 武庫川プレテスト、小学生対象 第3回入試説明会
日時: 11月9日(土) 9時30分~12時30分(プレテスト) 9時30分~11時(入試説明会)
会場: 武庫川女子大学附属中学校
小学5・6年生対象 プレテスト解説授業会
日時: 11月23日(土) 10時~12時15分
会場: 武庫川女子大学学校教育館
小学生対象 第5回個別相談会、ミニ説明会
日時: 12月7日(土) 10時~13時30分(個別相談会) 12時~12時45分(ミニ説明会)
会場: 武庫川女子大学附属中学校
中学生対象 第3回個別相談会
日時: 11月9日(土) 10時~12時
会場: 武庫川女子大学附属高等学校
中学生対象 第3回入試説明会、第4回個別相談会
日時: 12月7日(土) 10時~11時30分(入試説明会) 11時30分~13時30分(個別相談会)
会場: 武庫川女子大学附属高等学校

☆様々な分野での活躍

- 【高校1年】
◇日本語検定 6/7実施
団体表彰 全国高等学校国語教育研究連合会賞 優秀賞
個人表彰 読売新聞社賞 優秀賞
中谷の子(高1) 高見 優希(高1)
【書道部】
◇第54回高野山競書大会
8/15 高野山金剛峯寺
弘法大師賞
小西優羽奈(高3)
菅長賞
除本 真理(高2) 高橋 美樹(中3)
毎日賞
田邊 晴香(高3) 澤 まり(高2)
山本 恵理(高1)
総長賞
大舌 美穂(高2) 山部 茉凜(高2)
審査委員長賞
清水 小夏(中3)
南山賞
城谷 衿加(高2) 竹内 真悠(中3)
協会賞
片岡 想愛(高2) 森添 文音(高2)
渡邊 志帆(高2) 小林 未空(高2)
島 遥子(高1) 安田 弥生(高1)
推薦賞
藤井 小桜(中3) 高橋 怜奈(中2)

11月行事予定

Table with 2 columns: Date (日) and Event (行事予定). Includes events like 'A Bangkok Overseas Exam Results Release', 'Cultural Day', 'Sports Events', 'Examinations', and 'School Activities'.

【水泳部】

- ◇2019茨城国体
9/14~16 笠松運動公園
200m バタフライ 17位
4x100m メドレーリレー 10位
中辻 綾乃(高2)

【オーケストラ部】

- ◇第15回アンサンブル・フェスティバル兵庫 in 丹波篠山
9/15 丹波篠山市立田園交響ホール
実行委員会賞

【バントワリントン部】

- ◇第28回バントワリントン兵庫県大会
9/16 グリーンアリーナ神戸
フェスティバル部門 中学校Bチーム 優秀賞
コンテスト部門 中学校Aチーム 金賞
高等学校 金賞

【コーラス部】

- ◇第86回NHK全国学校音楽コンクール
11/28に高等学校が出場
◇第74回関西合唱コンクール
9/22 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール
中学 金賞 関西理事長賞
高校 金賞

【マーチングバンド部】

- ◇第27回マーチングバンド大阪府大会
9/29 おおきにアリーナ舞洲
高等学校の部 フェスティバル部門 優秀賞
(中学生も一緒に出演しています)